

■ 断熱材性能値

		アクアモエンライト	規格値（JIS A9526）
熱伝導率	W/(m・K)	0.021	0.026以下
圧縮強さ	kPa	152	80以上
接着強さ	kPa	143	80以上
透湿率	ng/(m・s・Pa)	6.3	9.0以下
燃焼性	燃焼時間：秒	60	燃焼時間が120秒以内
	燃焼長さ：mm	30	燃焼長さが60mm以下
環境性能		ノンフロン断熱材	—

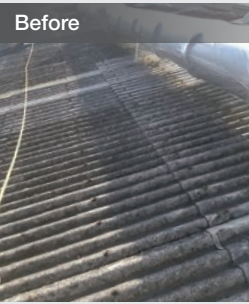
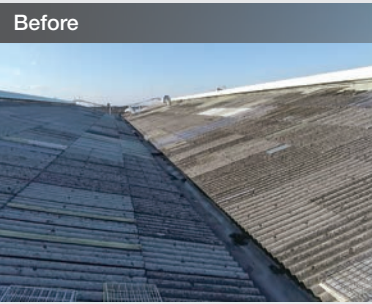
※性能の改善により、物性値は変わることがあります。
※発泡剤ハイドロフルオロオレフィン(HFO)はフロン類に該当しない、と JIS A 9526:2015 では定義しています。
※当社実測値であり、保証値ではありません。
※設計値については JIS 規格値を用いることを推奨いたします。

■ 飛火試験(大波スレート下地)

大波スレート下地に関しては、飛び火試験(建築基準法第22条第1項)に適合し、大臣認定を取得しました。
認定番号:UR-0070
詳細は別途技術資料をご参照ください。

■ 施工事例

某建材製造工場では、一般的なスレート屋根の寿命を超える 30 年以上の稼働で雨漏りが発生し、生産に影響が出ていました。建替も検討されましたが、工場を稼働したまま修繕できる点や、材工一貫の責任施工が評価され、ご採用いただきました。
断熱仕様の採用により、夏場の温度上昇の抑制や光熱費削減も見込まれています。



定期的なメンテナンス・点検のお願い

防水保証の考え方

- 防水施工の完了後、5年毎に施工箇所を定期点検し、点検記録を請負業者へ提出してください。また、定期点検時に保護仕上げ層の異常が確認された場合、直ちに保証業者による補修を受けるようにしてください。(有償)
- ドレンにゴミ、枯れ葉等が詰まっていないか、飛来物等による劣化がないか等の現状確認を定期的に行い(目安:年2回以上)、異常発見時は速やかに請負業者にご連絡ください。
- 定期的に防水層の状態(破断、剥がれ、膨れ、開き、破損等)を確認してください。(目安:年1回以上)

清掃

- 定期的にドレンを清掃をしてください。(目安:年2回以上※)

※お客様の建物環境に合わせ、清掃回数を増やしてください。

飛来した砂塵や枯葉によりドレンが詰まり、プール状になってしまいます。
この状態のまま放置してしまうと、防水層の劣化が促進します。
お客様にとって大切な資産を守るためにも、定期的な清掃をお願いします。



点検

- 定期的に防水層の状態を確認してください。(目安:年1回以上)

清掃時や確認の際は次のポイントをお確かめください。

- 防水層に破断が生じていないか。
- 防水層の末端が剥がれていないか。
- 防水層にフクレが生じていないか。
- シーリングの口開きが生じていないか。
- トップコートが消失していないか。

上記など不具合を発見された場合は、当社営業担当までご連絡くださいませ。

■ アクアモエンライトの酸素指数測定結果

評価項目	物性測定値
試験体厚み (mm)	10
酸素指数 (%)	32.0

■ ハジケン施工による強度比較

試験体仕様	曲げ破壊荷重 (N)
規格値 (大波)	3920以上
スレート (新品) + ハジケン2mm	5018



株式会社 日本アクア

〒108-0075 東京都港区港南2-16-2 太陽生命品川ビル20階
TEL:03-5463-1117 (代表) FAX:03-5463-1118

<https://www.n-aqua.jp/>

アクアハジケン

検索

Ver.2025.10



倉庫・工場の老朽化対策

こんなお悩みありませんか？

雨漏り
している

今の屋根を
活かしたい

倉庫内が
暑すぎる

稼働を中断
できない

✓ 倉庫や営業所が雨漏りしていて何とかしたい …

✓ 既存屋根を撤去せず、ローコストで施工したい …

✓ 防水性能と一緒に断熱性能も高められたら …

✓ 施工はしたいが、工場の稼働は止めたくない …

— FUKUGEN



フ ク ゲ ン
FUKUGEN工法の“5つの特長”で
お悩み全てを解決します！



防水＋断熱

高性能吹付け断熱材と防水材を併用可能。夏の暑さ対策にも効果的です。



高耐久
ポリウレア樹脂

ポリウレア由来の優れた耐久性（※）と塗膜強度、高耐候性により、メンテナンス頻度やライフサイクルコストを抑えられます。



優れた防水性能

接合部や隙間のない連続膜が形成され、水漏れリスクを大幅に低減します。



短工期の施工で
スピーディー

ポリウレア樹脂が短時間で硬化。傾斜部や複雑形状にも対応し、工期を短縮します。



改修が容易

既存屋根を撤去せずに施工し、工場を極力止めることなく防水工事を行います。次回改修も重ね塗りで対応でき、改修コストの削減に寄与します。

※ 通常1回あたり10～15年相当の耐久性を示すJASS8（建築工事標準仕様書）の耐久性試験（T501、T601）を3回繰り返し実施し、破断のないことを確認。

工法について

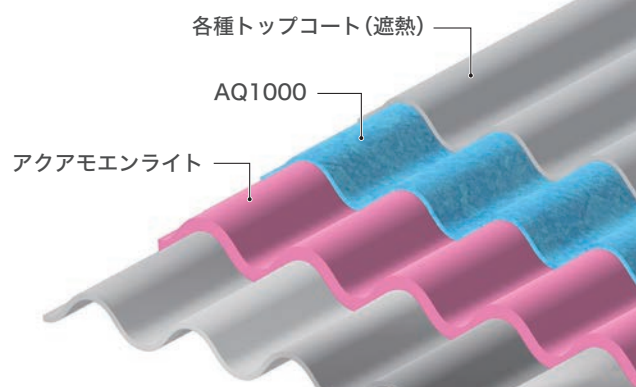
防水材アクアハジクンと吹付け断熱の組み合わせにより、
建物性能を向上させます。

日本アクアの誇る高性能断熱材とポリウレアを組み合わせることで、今までにない断熱性能を持つ防水層を形成できます。屋根からも労働環境の快適化を提供します。

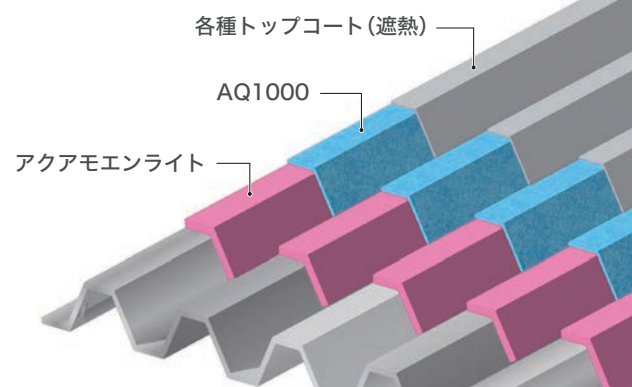
工程	使用材料	概要	使用量 (kg/m ²)
1	各種プライマー	必要に応じて使用	0.2
2	アクアモエンライト※1	準不燃材料相当※2	20～30mm
3	AQ1000	超速硬化ポリウレア	2.0
4	各種トップコート(遮熱)※3	遮熱トップコート	0.2

※1 必要に応じてアクアフォームNEO、アクアモエンNEOでの施工も可能です。
※2 アクアモエンライトは発熱性試験において準不燃性能を満たしますが、ガス有害性試験を実施していないため『準不燃材料相当』としております。
※3 トップコート遮熱仕様についてはカラーバリエーションが限られます。詳しくはお問い合わせください。

波板スレート屋根改修 AQ-DSC

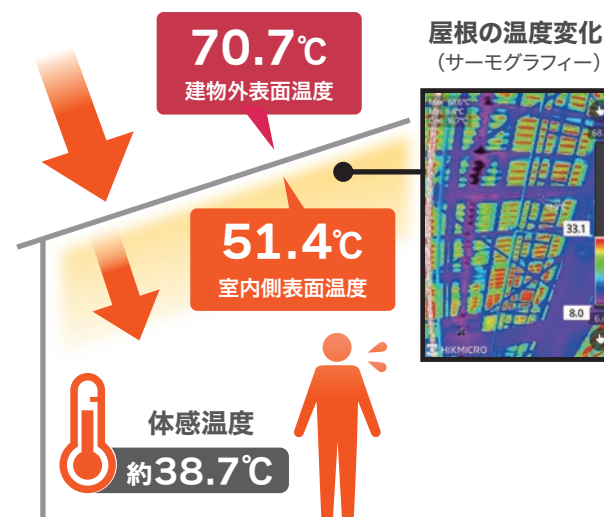


金属折板屋根改修 AQ-DIR



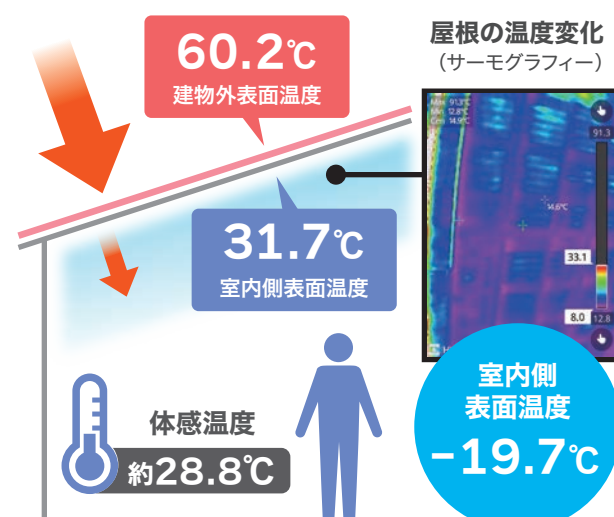
Before

スレート屋根



After

施工済みスレート屋根【防水+遮熱】



※ 表面温度シミュレーション。(外気温 35.0°C、室内設定温度 26.0°C)
※ 遮熱トップコート+アクアハジクン+アクアフォーム NEO(10mm)を施工した場合の比較例。